

中学年：課題と授業改善案

国語	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第4学年】 (令和元年度結果：第4学年時) ○正答率が目標値や区の平均値を下回っているものが多い。 ○領域別では「書くこと」「読むこと」が弱い。 ○観点別では、「書く能力」「読む能力」の正答率が低い。 ○試験の形式になれていない。</p>
昨年度の成果と課題	<p>【3年生】 ・「はじめ」「中」「おわり」の構成を理解できるようになってきたが、内容を理解することには課題が見られる。 ・書くことに抵抗はなくなってきたが、2年生までに学習した漢字や助詞を正しく用いて文章を書くことが難しい。</p> <p>【4年生】 ・話の中心を意識しながら読んだり、相手の話の中心を聞いたりする活動を取り入れ、意識した読み方や聞き方が分かるように視点を決めて指導してきた。また、詩や俳句、短歌などを音読する機会を増やした。 ・段落に気を付けて書くことや文をつなぐ言葉の幅を増やしながらかつて文の中で適切に使えるようにしてきたが、目標を達成するまでには至らなかった。</p>
課題	<p>○話の中心を意識していないため、話の内容を正しく読んだり書いたりすることができていない。 ○助詞や接続詞を適切に用いて文章を書くことが難しい。既習の漢字やローマ字が定着しておらず、適切に使うことができていない。 ○図や表から大切な情報を見つけ、自分の考えを分かりやすい文章にするなど内容を読み取るための基礎的な力に課題がある。</p>
授業改善案	<p>◎説明文の学習を通して、文章のつくり、段落のつながりやはたらきについて重点的に指導する。 ○助詞、表記、接続詞、漢字、ローマ字、に関しては、朝学習での「書くって楽しいね」や「南作タイム(作文)」で練習したり、読書量を増やしたりして、日常の授業中の配当時間以外にも、継続して指導することで定着させていく。 ○説明文や物語文の読み取りでは、根拠にもとづいて文章を読んだり要点や要約を自分でまとめる活動や、図や表から分かることを自分の言葉でまとめる活動を取り入れていく。</p>

社会	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第4学年】 (令和元年度結果：第4学年時) ○正答率が目標値や区の平均値を下回っているものが多い。 ○領域別では「生産や販売」「先人の働き」が弱い。 ○観点別では、「社会的な思考・判断・表現」の正答率が特に低い。</p>
昨年度の成果と課題	<p>【3年生】 ・用語の意味を正しく理解し、それらの言葉を使って文章を書いたり、説明したりすることに課題が見られる。 ・地図や資料から必要な情報を読み取ることやそれらを比較したり関係付けて考えることが難しい。</p> <p>【4年生】 ・基礎・活用の基礎的な力に課題がある。 ・調べ学習は興味・関心をもって取り組んでいたが、どの資料を読み取ればいいのかわからず、上手にまとめることができなかった。</p>
課題	<p>○土地の立地条件から、住む人々の暮らしと結び付けて比較したり関係づけて考えることが難しい。 ○目的意識をもって地図や資料から必要な情報を読み取る力に課題がある。 ○活用の力に課題がある。 ○生産者の工夫について消費者の視点に立って把握することができていない。</p>
授業改善案	<p>◎様々な資料を提示し、社会的な事象について、因果関係や人々の思いについて思考する場を設定して指導する。 ○「なぜそこにあるのか」など疑問をもち、その立地条件に着目し、問題を解決していく授業を展開する。 ○社会科見学や取材、調べ学習を通して分かったことや気付いたことを、地図や資料を活用しながら用語を使ってまとめる活動を取り入れる。 ○体験的な学習の場を多く設定し、どんなことを学んだか振り返りができるように指導する。また、様々なものに触れ、そこに関わる人々の思いについて実際に見たり、聞いたりすることで、考えを深められるように指導する。</p>

算数	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第4学年】 (令和元年度結果：第4学年時) ○大田区学習効果測定の結果では、正答率が目標値や区の平均値と同じか、上回っているものが多い。 ○領域別では、「量と測定」がやや弱い。 ○観点別では、特に「知識」の正答率がやや低い。</p>
昨年度の成果と課題	<p>【3年生】 ・繰り上がり、繰り下がりのある計算や乗法はできるようになってきているが、早く正確に計算する力は十分に身に付いていない。 ・文章問題から立式に必要な情報は読み取れるようになってきている。</p> <p>【4年生】 ・図形の性質を調べたり、図形を丁寧に描いたりすることが苦手な児童が多い。 ・個人差が大きく、基礎・基本が身に付いていない児童がみられる。</p>
課題	<p>○正しく計算をしたり、量感をイメージして予測して測ったりすることができないことがある。 ○文章問題、絵や図から立式に必要な情報を読み取り、設問に対する正しい答えが求められないことがある。 ○コンパスや分度器を使って、角度を測ったり、図形を正確に書いたりすることができないことがある。</p>
授業改善案	<p>◎自分の考えを発表したり、他者の考えを聞いて自分の考えを深めたりする時間をもつようにする。そのような活動を通し、様々な解決方法や表現の仕方を増やし、場面に応じて活用できるようにしていく。 ○計算や図形の理解が不十分な児童には、スモールステップ学習で個別に対応し、「できた」「分かった」という体験を積み重ねることによって、知識の定着を図る。 ○実物を操作したり、自分の体験と結び付けて考えさせたりすることで、量感をイメージして学習させる。 ○日常的に計算練習を取り入れ、早く正確に計算する力を身に付けさせる。</p>

理科	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第4学年】 (令和元年度結果：第4学年時) ○正答率が目標値や区の平均値をやや下回っているものが多い。 ○観点別では「科学的な思考・表現」「自然事象についての知識・理解」が目標値をやや下回った。</p>
昨年度の成果と課題	<p>【3年生】 ・観察する視点やお手本を提示することで、どこに注目して観察し、考察すればよいか分かるようになってきた。 ・理科で用いる大事な言葉を意識するようになってきたが、それらを使って書いたり説明したりすることには課題がある。</p> <p>【4年生】 ・ノートやプリントに観察や実験の結果を記録することを継続的に行ってきた。少しずつではあるが身に付いてきた。 ・自然事象に興味をもつ子供が多くなった。理由を明確にして現象を説明することにはまだ課題がある。</p>
課題	<p>○自然事象に興味をもっているが、相違点や共通点を考えたり、理科で用いる大事な言葉を正しく使ったりして現象を説明することに課題がある。 ○温度計や虫めがねなど、状況に応じて操作することに不安を感じている。 ○「生命・地球」領域では主に観察を行うが、動植物や星空を実際に観察することが難しい。 ○観察をする際にも、観察の際の観点が徹底されず、焦点を絞り切れなかった。 ○実験の条件を揃えるもの、複数の実験から考察することなどの課題を解決することが難しかった。</p>
授業改善案	<p>◎相違点や共通点に気が付くことができるよう視点を与え、結果にもとづいて理科で用いる大事な言葉を使って考えを説明する授業展開や場を作っていく。 ○虫眼鏡や温度計など実験器具を正しく用いることができるよう、継続的に指導する。 ○実験のめあて、自分の考え、結果、考察などしっかりとノートにまとめられるようにする。また、小テストなどを行い、学習の定着を図る。 ○「生命・地球」領域の学習においては、実際に観察・実験をする体験をできるだけさせるような学習計画を立てるようにする。また、天候や生育状況などによりそれが難しい場合にはICT機器を活用するようにする。 ○植物の成長や気候の変化などは、継続観察を通して、興味・関心をもてるよう指導する。</p>

音楽	
昨年度の成果と課題	<p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーや鍵盤ハーモニカの運指について、個人差が大きい。また、前学年までの既習事項に自信のない児童がいる。 ・音楽から感じ取ったことを、適切な言葉や表現で伝えることが難しい。 <p>【4年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人での演奏は問題ないが、互いの音を聴き合いながら合わせて歌ったり、合奏したり合唱したりすることが難しい。 ・音楽から感じ取ったことを、適切な言葉や表現で伝えることが難しい。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人での演奏は問題ないが、互いの音を聴き合いながら合わせて歌ったり、合奏したり合唱したりすることが難しい。 ○音楽から感じ取ったことを、適切な言葉や表現で伝えることが難しい。 ○リコーダーや鍵盤ハーモニカの運指について、個人差が大きい。また、前学年までの既習事項に自信のない児童がいる。
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> ◎計画的に復習の時間を取り入れ、既習事項について着実に理解させ自信をつけさせる。 ◎客観的に振り返りができるように、聴き合ったり、自分たちの演奏の録音を鑑賞したりする学習を取り入れる。 ◎わかったことを伝えるために、共通事項について正しく理解させる。 ◎フラッシュカードやICTを活用し、既習事項の復習や技能(持ち方、運指など)の指導を行う。

図工	
昨年度の成果と課題	<p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水彩絵の具の様々な技法に触れることで、表現の幅が広がり、作品に活用する姿が見られた。 ・金づちや釘抜き、きりの安全な使い方を習得することができたが、木片を組み合わせる段階で戸惑う児童が見られた。 ・作品制作は積極的であるが、道具を大切にしない場合がある。 <p>【4年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリル絵の具の基本的な使い方は習得することができたが、イメージに合う塗り方や混色加減については課題が残る。 ・のこぎりの安全な使い方を習得することができたが、計画性に課題のある児童が見られた。 ・作品制作については積極的であるが、集中力、持続力に欠ける児童がいる。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○材料の特性や用具の効果的な利用方法が身に付いていない児童がいる。 ○発想の段階でつまづき、自分の意見を持つことが困難な場合がある。 ○道具の扱いに関して指導がさらに必要である。 ○積極的に取り組んでいる児童がほとんどであるが、活動のペースに差がみられる。 ○作品完成まで集中力を維持できない傾向がある。
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> ◎発想の段階で話し合いの時間を設け、意見を共有し、作品のイメージを持たせる。 ◎題材目標に向けて自分のイメージがもてるよう、適宜ワークシートを活用する。 ◎参考作品や絵図のある板書や資料を活用し、材料の使い方や用具の使用法、片付け方をわかりやすく提示し徹底させる。 ◎自分なりの工夫ができていない作品を教員が取り上げて全体指導に生かすことで、自分の作品へのこだわりをもつ態度を育てる。 ◎材料の特徴をみんなで話し合ったり確かめ合ったりして、効果的な表し方を考察する時間を設ける。 ◎短時間で完成できる題材も取り入れながら、完成する喜びを味わい、次の学習の意欲を高める。

体育	
昨年度の成果と課題	<p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学習活動も意欲的に取り組むことができるようになってきている。 ・集団の中で適切に自分の意見を伝えたり、主体的な行動をしたりすることに課題がある。 <p>【4年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投げる動作について、学校全体での取り組みもあり、活動する機会が増え、意欲的に取り組んでいる。 ・ゲーム型の授業では、得意な児童が中心となっていて、苦手な児童は消極的な参加となっている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○相手がとりやすいボールを投げたり、確実にボールをキャッチしたりする技術や、最後まで懸命にゲームに取り組む体力が持続しない。 ○ゲーム型の授業では、得意な児童が中心となっていて、苦手な児童は消極的な参加となっている。集団の中で適切に自分の意見を伝えたり、主体的な行動をしたりすることに課題がある。 ○投能力に関して、正しいフォームで長い距離を投げる力に課題がある。
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎能力の習得を目的とする活動の時間を毎時間必ず設定する。 ◎技術の向上や作戦づくりなどに積極的に挑戦する姿勢を認め、めあての達成に向けて自分なりに工夫ができる機会を設定する。 ◎ゴール型運動、ネット型運動等の学習を通じて、相手によって力加減や投げる方向をコントロールしたり、確実に受け止めたりすることができるように視覚的に、動作的に練習する機会を増やす。 ◎個人の力に合わせためあてを設定する。また、チームの中で教え合い学習の場を設定し、全員がそれぞれのめあてをもって学習できるようにする。「できた」という達成感を味わうことができるようにすることで、苦手な児童も積極的に参加できるようにする。